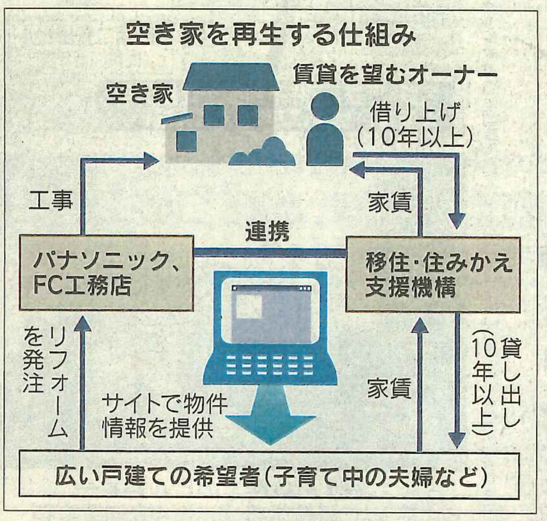
パナソニック　空き家再生

FC加盟の工務店がリフォーム

子育て世帯に賃貸

社団法人と連携

パナソニックは住宅大手でつくる一般社団法人移住・住みかえ支援機構（東京・千代田）と連携し、空き家の再生事業を始める。木造住宅をパナソニックのフランチャイズチェーン（ＦＣ）に加盟する工務店がリフォームし、同機構が10年以上の期間で借りて子育て中の夫婦などに貸し出す。賃貸住宅でも内装などを自由に決めたい若い世代などの需要に応える。



パナソニックのＦＣ工務店によるリフォームのイメージ

パナソニックはリフォームに伴って浴室や台所などの設備を販売する。両者は２０１５年の年明けからオーナーへの提案を始め、春には物件情報サイトを設けて情報を提供する。

空き家の所有者や、家族が減って住み替えを計画している高齢者、広い家を求める子育て世帯などに利用を呼びかける。住宅メーカーや工務店が建てた住宅でも対象とする。

内装は入居者が自己負担で自由にリフォームできる。リフォーム費用は１００万円程度のプランを中心に提案し、分割で払うための専用ローンを用意する。月額家賃は首都圏で10万～12万円程度に設定し、ローン込みでも賃貸マンション並みの資金で広い一戸建てに住めるようにする。

リフォーム住宅の需要の高まりに対応しながら、増え続ける空き家問題の解決にもつなげる。

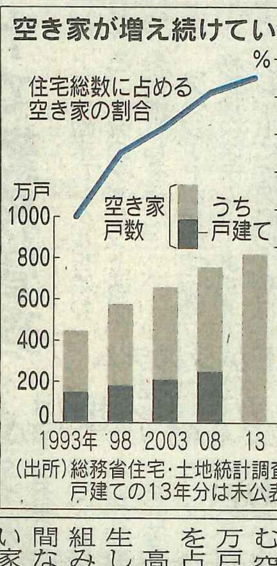
リフォームは原則としてパナソニックのＦＣ「リファインショップ」に属する工務店が担当する。まず全国１５０の工務店が参加し、３年後をめどに３００以上に増やす計画だ。

現行の新耐震基準が導入された１９８１年以降に建てられた木造住宅を対象とする。工務店が建物を診断し、耐震補強が必要となった場合は支援機構が費用を負担し、補強工事を実施する。工事費は毎月の家賃から回収していく。

15年１月には相続税の課税範囲が拡大される。持ち家を賃貸すると土地などの評価額が下がり、相続税が少なくて済むようになる。この利点も訴えて空き家の所有者らに家屋の有効活用を呼びかけ、今後３年で１２０戸以上の受注を目指す。

国内では13年度に約37万戸の賃貸住宅が着工した。そのうち98%はマンションなどの集合住宅で、戸建ては２%の８８５７戸にとどまる。

一方で空き家は急増している。総務省の13年の調査では集合住宅を含む空き家は約８２０万戸と、住宅全体の14%を占めている。



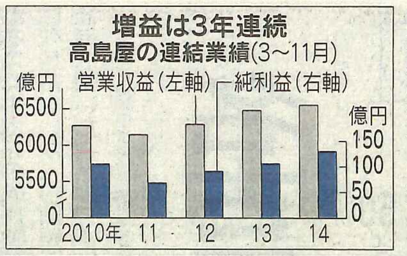
（出所）総務省住宅・土地統計調査。戸建ての13年分は未公表

高齢者らの空き家を再生して長期間貸し出す仕組みが整えば、子育て期間など必要な時期だけ広い家に住みたい夫婦や、転勤の多い世帯などが住宅を選ぶ際の選択の幅が広がる。空き家の所有者は家を手放さずに安定した家賃を得られるほか、リフォームで住宅の劣化も抑えられる。

人口減で国内の住宅新設は今後、頭打ちになる見通し。空き家となっている中古住宅を再生して収益をあげる取り組みが、住宅メーカーや工務店の間で重要になっている。パナソニックに追随する企業も増えそうだ。

高島屋、純利益23%増

３～11月　訪日客向けが好調



高島屋が26日発表した２０１４年３～11月期の連結決算は、純利益が前年同期比23%増の１３０億円だった。訪日外国人の来店が増え、化粧品や高額時計などの販売が好調だった。富裕層向けに宝飾品の売れ行きも良かった。

高額品の販売が収益を支え、消費増税の影響を吸収した。

売上高にあたる営業収益は１%増の６５５４億円、営業利益は８%増の１７８億円だった。百貨店の免税品売上高は80億円強と５割増えた。訪日外国人客向けに、70万～１００万円の高額時計や化粧品などの販売が好調だった。

木本茂社長は「（訪日外国人の）市場が爆発的に大きくなっている」と話す。

免税品以外では紳士服や婦人雑貨などは堅調だが、婦人服や食品がやや苦戦した。「ネット通販や専門店などに比べて、若い世代の顧客開拓力が弱かった」（高山俊三常務）とみている。

賃借していた新宿店（東京・渋谷）などの店舗を14年に取得したことで、賃料負担が減った。商品管理センターなど不動産の売却益も純利益を押し上げた。

15年２月期通期の営業収益は前期比１%増の９１６０億円、純利益は15%増の２１５億円とする従来予想を据え置いた。

ポテト調達難、なお

マクドナルド、M・L再開へ

日本マクドナルドは２０１５年１月５日に「マックフライポテト」のＭ・Ｌサイズの販売を再開する。必要量を調達できず、12月17日からはＳサイズだけを販売していた。販売休止の原因となった米国西海岸からの船便の遅れは解消していないため、再び休止に追い込まれる可能性は残っている。

原因の船便、遅れ解消せず

同社は米国東海岸からの船便を手配した。１月６日にはバネのような形状の期間限定商品「カーリーポテトフライ」を発売する。この在庫はすでに確保しており、ポテトの需要が分散することも見越してＭ・Ｌサイズの販売再開に踏み切る。

ファミリーレストラン最大手のすかいらーくもフライドポテトが不足し、販売を続けるため12月に約１カ月分を空輸した。同社によれば船便による輸入再開のめどは立っていないという。

港湾労働者の労使交渉の長期化がもたらした「ポテト問題」が今後も各社を悩ませることになりそうだ。

旅館の外貨両替代行

ＪＴＢ　来年4月、24通貨対象

ＪＴＢは地方の旅館やホテルの外貨両替を代行するサービスを２０１５年４月に始める。旅館などの担当者は宿泊客から受け取った外貨の金額を専用サイトに打ち込み、ＪＴＢに外貨を郵送する。打ち込み時点のレートで両替した日本円が銀

た。最近はオーストラリア人のスキー客が増え、豪ドルとの両替需要が増えているという。

日活、今回は5割増

「昭和の名作」年末年始の集中放送

映画制作の日活（東京・文京）はＣＳ（衛星放送）の「チャンネルネコ」で今月と来月の２カ月間、昭和の名作に出演した俳優や往年のスター歌手の作品を集中的に放映する「一挙放送」を昨年より５割増やす。28日には石原裕次郎の出演作、31日には舟木一夫の最新ドキュメンタリーをそれぞれ放映する。年末年始の集中放映でシニア世代の視聴者を増やす。

日活は２０１３年12月～14年１月には14テーマで一挙放送したが、今回の年末年始（14年12月～15年１月）は20テーマで作品を放映する。

28日には生誕80周年を迎える裕次郎が出演した「黒部の太陽」など５作品を流す。31日には「高校三年生」などの名曲で知られ、70歳の今も現役で活躍する舟木一夫の最新ステージ映像を含めたドキュメンタリー４作品を一挙に放送する。

クールジャパン機構　旅行会社で初

ＪＴＢが出資

ＪＴＢは26日、日本文化の発信につながる産業を支援する官民ファンドの海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）に出資したと発表した。旅行会社の出資は初めてで、出資額は数億円とみられる。クールジャパン機構は日本の商品・サービスの海外販売を支援することを目指し、２０１３年に官民ファンドとして発足した。

ケーキの変色　カビ発生が原因

不二家

不二家は26日、子会社の飲食店で販売したケーキの一部にみられた変色はカビの発生が原因だったと発表した。現時点で、健康被害の報告はないという。カビの発生原因は引き続き調査し、再発防止に努めるとしている。

「不二家レストラン古河東本町店」（茨城県古河市）が13日に販売した「ショートケーキＳ」の一部のスポンジ生地にみられた変色を第三者機関が調べたところ、２種類のカビが検出されたという。同店では、店内で加工する洋菓子８品の製造を引き続き取りやめる。

文末のカッコ内は希望小売価格、発売日

研究室での実験解析に

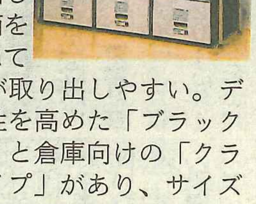
カシオ計算機のコンパクトデジタルカメラ「ＥＸ―100ＰＲＯ」

無線ＬＡＮを使い、最大７台まで同期して撮影できる。専用アプリでタブレット（多機能携帯端末）から操作。毎秒60枚の高速連写機能を備える。スポーツのフォームチェックや研究室での実験解析などでの利用を見込み、オンラインショップで販売する。

《オープンだが想定は税別12万円前後、2015年 1月13日》

保管箱、積み重ねＯＫ

ライオン事務器の壊れにくく積み重ねて使える文書や雑誌などの保管箱「ストックケース」



引き出し式で、箱を積み重ねても中身が取り出しやすい。デザイン性を高めた「ブラックタイプ」と倉庫向けの「クラフトタイプ」があり、サイズはどちらも奥行き45㌢㍍と60㌢㍍の２種類。

《「ブラックタイプ」が税別2900～3200円、「クラフトタイプ」が2500～2800円。2015年１月20日》

の小さな本格オーディオに
ミッドナイトブルーが登場。NEW

BOSE
Better sound through research
本格的な高音質オーディオを、好きな場所で愉しむ。
ウェーブミュージックシステム Ⅲは、CDとAM/FMラジオを搭載した一体型の小型オーディオ。合計132cmにもおよぶ共鳴管を内蔵した独自の音響技術により、大型スピーカーを凌ぐ本格サウンドを奏でます。
ウェーブガイド・スピーカー・テクノロジー